

2021/03/15 (月)

朝の礼拝

聖書 テサロニケの信徒への手紙 I 5章16-18節 (新約聖書379頁)

16 いつも喜んでいなさい。17 絶えず祈りなさい。18 どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。

思いと願いを超えて

「いつも喜んでいなさい」とありました。それは悲しい時や怒っている時も、我慢して無理に喜ばないさいという意味ではありません。自分の感情、相手の感情、そこで起きていることには意味があり、神様も共にいて感じておられるということです。

次に「絶えず祈りなさい」とありました。それは日常生活から離れなさい。思い煩い、考え込むのを止めなさい、休みなさい、眠りなさい、少し頭を空っぽにしなさいという意味です。神様が必要なものを与え、新しい道へと導かれるということです。

そして「どんなことにも感謝しなさい」とは、後でふり返れば神様に愛されていたと気づかされるということです。それは私の知らない、気づかないところで、神様が豊かな恵みが与えられ、赦し生かされていたと気づくことです。

この一年、どうしてパンデミックなのか、ずっと考え学び続けてきました。そして神様に祈り、その答えを求め続けています。まだまだ答えはわかりませんが、少なくとも今ふり返れば神様は必要な時に、必要な導きを与えて下さっていたと感謝しています。

(しばらく黙祷しましょう)

英和女学院、英和生を愛し、励まされる主よ。

今年度もあとわずかとなりました。この一年、あなたは私たちの思いも及ばない、私たちの願いを超えた大切なことを示され、必要なものを与えて下さいました。また共に過ごした友だちに、ご指導下さった先生方に、そして陰で支えてくれた家族に感謝します。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、安全で健康な学校生活をお守り下さい。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン